

成人向
同人誌
for Adult Only

姫あわび姫松茸 3.7

Hime-awabi Hime-matsutake Vol.3.7

KOKKEI-NAGAYA 2008 WINTER



「うふふ、どうかしら私たちの尻チンずりの味は？」
「あん、プニプニお尻でシコシコ気持ちいいですっ♡」

03

「精液でおしりがだんだんヌルヌルしていくわあ〜♡」
「はひ、お尻でしごかれるのがこんなに気持ちいいなんてヘッ♡」



「あーっお尻の穴気持ちいいですーっ」
「お尻におチンポ味がしみこんでくるのーっっ」



「あーもうっ早くザーメン空っぽになってよオ…♡♡♡」
「もうすぐ昼休みが終わっちゃうじゃない…♡」

03

「みんなに遅れているのはトイレでオナニーしてる、と
思われたら…♡」「やだ…♡またチンポ固くなってきちゃった…♡♡♡」



「おチンポ固くて熱くてドクンドクンしてるね…♡」
「あっ♡やだ♡そんなに激しくこすらないでっ♡♡♡」

「んっ♡すき♡好きよお…♡」
「もっと♡もっとお♡チュッチュッして…♡」「」



「あっあっあ、アナルがほじられるのが気持ちいいなんて♡」
「わたしもっこんなの初めてですっあへっあへっ♡」

「あーっ…♡ザーメンが直腸をこみあげてくるわあ…これがアナル
アクメなのね…♡♡」「ケツ穴で妊娠しちゃいそうすうう♡♡♡♡」



「まあ、奥様ってばここがこっていますね♡マッサージ
をしてさしあげますわ♡ムフフ♡♡♡」

03

「あはは、奥様ってばこんなに精液ドビュドビュして♡♡♡」
「マッサージなのにこんなになって…ドスケベな奥様なこと♡♡」



*ひさびさに版権キャラクターでエロを描きたかったので
オトメディウスのジオールお姉さまとソウルキャリバー4



版ソフィーティアを描いてみました。どちらもキャラデザが
ムチムチしてとてもたまりません、…ハハハ

<奥付>

誌名: 姫あわび姫松茸 その3.7

初版: 2008年12月30日(コミケ75)

印刷: 有限会社ねこのしっぽ

発行: 滑稽長屋

著者: 加藤 哲哉

Mail: kk1_7gy@yahoo.co.jp



<あとがき>

本書を手にとっていただきありがとうございます。
サークル『滑稽長屋』代表の加藤 哲哉と申します。

なんと言いましようか…今回は本業に集中していたため
コミケに向けての同人誌制作時間が取れずに夏コミに
続いてイラスト本になってしまいました。内容がいつもに増して少なめで
申し訳ございません。次は濃ゆいふたなりエロ漫画が描けるといいなあ。

次のイベント参加は可能であれば『ふたけっと』に参加を考えております。

とにかくこれで一段落したので放置していたライドウ対アバドン王を存分に
プレイしたいです。最近買ったとしても積みゲーばかりが多くなっていますw
未開封と言う点で部屋の中が「積みフィギュア」とか「積み同人」とかで溢れて
思い出がいっぱい。"美しさは「積み」"な状態ですw。

わずかばかりの時間でしたが、このようなつたない本を見ていただいて
ありがとうございました! 残りわずかになりましたが良いお年を!

(もしくは新年明けましておめでとうございます、かな?)

加藤 哲哉



わ、わたし、ずっと誰かに見られていると
思うと勃起が収まらなくて...♡

ねぇ、ここデコデコしていいよね.....♡

滑稽長巻2008年冬

○本書の内容は全てフィクションです

○本書の無断転載を禁じます